

2010年度

科目名	ゼミナールⅡ				
担当教員	井上 徹				
配当	人社4			コード	80500
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	4
授業テーマ	科学論文へのアプローチ				
目的と概要	卒業研究に向けて、社会調査法や心理統計法などの実証科学的なアプローチを再確認します。さらに各自が取り上げた研究対象に関わる、理論的な背景について理解を深めることをめざします。卒業研究としてまとめ、最後に成果を発表します。				
成績評価法	以下の5点を重視して評価します。 1. 専門への努力度 2. 仲間への貢献度 3. 理解への意欲度 4. アルバイトとの差し引き度 5. 将来への期待度				
テキスト					
参考書					
履修に当たっての注意・助言	就職活動などでやむを得ず欠席する場合は、事前・事後に必ず連絡すること。				
講義計画					
<p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゼミナールⅡへのオリエンテーション</li> <li>2. 卒業研究への問題提起発表 (1) 内外の研究論文を読み、卒業研究の基礎を固めます。</li> <li>3. 卒業研究への問題提起発表 (2) 同時に各自の問題提起部分を明確にします。</li> <li>4. 卒業研究への問題提起発表 (3) 心理学研究 教育心理学研究 社会心理学研究</li> <li>5. 卒業研究への問題提起発表 (4) 実験社会心理学研究</li> <li>6. 卒業研究への問題提起発表 (5) Journal of Personality and Social Psychology</li> <li>7. 卒業研究への方法部分発表 (1) Journal of Social Psychology</li> <li>8. 卒業研究への方法部分発表 (2) 質問項目や実験手続きを明確にし、調査や実験を行ないます。</li> <li>9. 卒業研究への方法部分発表 (3)</li> <li>10. 卒業研究への方法部分発表 (4)</li> <li>11. 卒業研究への方法部分発表 (5)</li> <li>12. パソコンを用いた統計解析 (1) 収集したデータを、パソコンを用いた統計解析にかけます。</li> <li>13. パソコンを用いた統計解析 (2)</li> <li>14. パソコンを用いた統計解析 (3)</li> <li>15. パソコンを用いた統計解析 (4)</li> </ol> <p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>16. 結果分析と執筆へのオリエンテーション</li> <li>17. 結果分析：個人指導 (1)</li> <li>18. 結果分析：個人指導 (2) 得られた結果を分析、整理し、論文として完成させます。</li> <li>19. 結果分析：個人指導 (3)</li> <li>20. 結果分析：個人指導 (4) まず行動を起こすこと、質問はいつでも、どんなことでも受け付けます。</li> <li>21. 結果分析：個人指導 (5)</li> <li>22. 結果考察：個人指導 (1)</li> <li>23. 結果考察：個人指導 (2)</li> <li>24. 結果考察：個人指導 (3)</li> <li>25. 結果考察：個人指導 (4)</li> <li>26. 結果考察：個人指導 (5)</li> <li>27. 卒論全体：個人指導 (1)</li> <li>28. 卒論全体：個人指導 (2)</li> <li>29. 卒論全体：個人指導 (3)</li> <li>30. 卒論発表会 各自の卒業研究の成果を発表します。</li> </ol>					